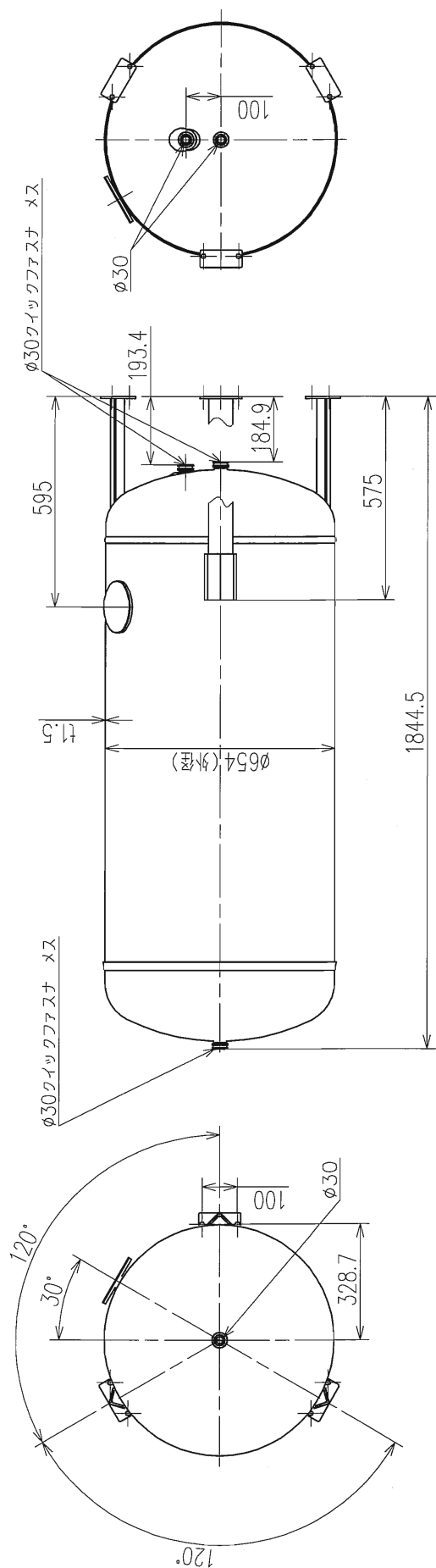
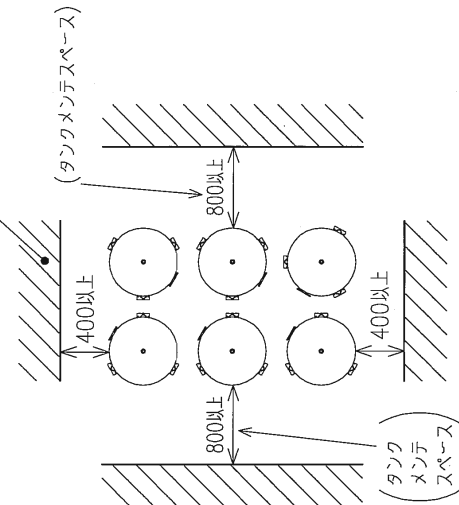
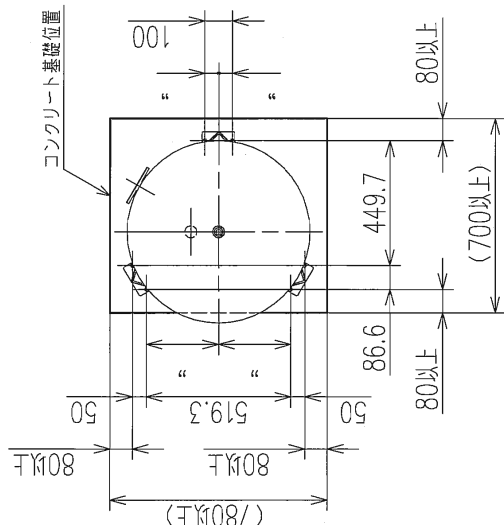




- コンクリート基礎とアンカーボルト
アンカーボルト: M12後打式樹脂アンカ (M12x2本x3箇所)
埋込長さ90mm以上 (出た20mm程度)

- 密閉式タンク据付スペース (サービススペース)
(タンクx6本の設置例)

壁面・梁・柱・他ユニット等の障害物



- 注 (1) 本タンクは屋内設置専用です。屋内であっても雰囲気温度が0℃を下回る場所には設置できません。断熱材を現地施工する場合でも屋外への設置はできません。
- (2) 外気温度が0℃以下になると、凍結により屋外に設置した熱源機への配管が破損する恐れがあります。
- (3) 凍結防止ヒータを配管に取り付け、凍結防止工事を行ってください。
- (4) 給水口の直前にストレーナ、減圧弁 (二次側圧力400kPa調整済)、逆止弁、温度計、圧力計を取り付けてください。
- (5) 給湯口を出たところに負圧防止弁、逆止弁、圧力計、温度計を取り付けてください。
- (6) 長期間の使用によってタンク内に水アカがたまったり配管材料の劣化などにより水質の変化が起こる場合があります。
- (7) 金属の種類によっては、異種金属を直接接続すると接合部に腐食を生じます。絶縁フランジなどを使用して電食対策を行ってください。
- (8) 基礎台穴はM12アンカーボルト用になっております。
- (9) 耐震強度に応じ適切なアンカーボルト施工方法を選定してください。
- (10) 特殊な雰囲気中 (温泉地、海岸地区、油の多い所等) への設置については御相談ください。
- (11) タンクは最高90℃になります。火傷防止・保温の観点から必ず保温工事を行ってください。
- (12) 保温工事は、下記仕様を満足するように施工してください。(参考メカ: アサヒファイバークラス)
- ・胴 部: グラスウール密度16kg/m³、厚み50mm以上
 - ・積板部: グラスウール密度24kg/m³、厚み50mm以上

仕 様

- ・耐 圧: 1.75MPa
- ・最高使用圧力: 0.49MPa
- ・漏れ試験圧力: 0.25MPa、1分間 (空気圧)、0.49MPa (水圧)
- ・流体種類: 市水
- ・最高使用温度: 90℃
- ・許容最大流量: 50L/min
- ・脚 登 装 置: 粉体塗装 (黒色)
- ・脚登装置厚さ: 50μm以上
- ・RoHS対応品
- ・容 量: 500L
- ・重 量: 48330g

※アンカーボルトの中心からコンクリート基礎辺部 (モルタルを除く) までの距離は80mm以上あること。
辺部までの距離が近いと十分な耐震強度を満足することが出来なくなります。

適用機種		C□2給湯機用貯湯タンク	
形 式	M-VT500C	名 称	外形図 (OUTLINE)
発行者	小林	図 番	120125
訂 付	1/1	製品	MC-F000Z013